

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 縄文

いろんな考えがあるから面白い
いろんな人がいるから楽しい

No. 695

2025年2月

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

- ・「マージナル父の戦場」ほか
- ・山仕事(1月、薄場・島田市)
- ・お便りから
- ・マイナ保険証がもたらす未来
- ・第Ⅲの被曝
- ・け・い・じ・ばん

ページ

2

6

8

24

25

26



だんく 仏くる
癖の父はもう
ぬい 山頭火

泉ゆきを「心はいつも山頭火」
(日本習字普及協会)

メール配信をご希望の方は、

<suzukikosei.san@gmail.com>へ。

三宅伊都子さんが

応対して下さいます。

月 日 現在の
会員数 名

題 字 故 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)
カ ッ ト 故 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は、
未来に残したい文化②

山仕事 (1月、薄場・島田市)

今回から、静岡での山仕事は新世紀に入る。前日、里芋掘りをがんばったので腰に黄信号が灯り、左膝の具合も悪い。まあ、ぼちぼちやるか。

1月8日(水)、晴。富士は、五合目辺から上は雲の中。その下、南側の斜面は黒くろとし、沢筋だけが白い。今シーズン、雪は日本海側が主体のようだ。

天浜線 森駅で、久米、竹中、若林さんに迎えられ、いったん久米さん宅に荷を下ろし、正士さんちへ。暮れと特に変わったこともなく、安堵。食事は自分で作るほか、めぐちゃん、妹さんからも届けられたとのこと。

正士さんと一緒に深澤さんの豊岡農園へ。「青島」の出荷が始まるところで、今回も大粒のミカンをどっさり頂いた。いつもありがとうございます。

買物組(久米、康江、原田さん)と別れ、チェンソーなどを積み再び薄場へ。日の短い時期、作業は竹やぶの周囲にイシよけのネットを張る準備。早めに終えて、全員で森町の銭湯へ。(300円。町民は200円)

戻って、新世紀の作業の検討。ぼくが1日ばかりで用意した直近4年間の月毎作業内容の表をもとに、原田さんが中心となって検討。正士さんの持山の作業がなくなると、冬季は暇になる。原田さんの考えで、6、7月と10、11月に作業を集約することになった。近隣の4家の作業が中心で、正士さんちの関係では、草刈りを中心に実施する。正士さんは、田んぼは貸すので作業の必要はなく、茶園は「元氣里山」グループに任せてもらう意向だが、グループも高齢化で引き受けてくれるか確証はないとのこと。その場合、茶葉の収穫は無視し、景観としての茶園を維持するにとどめようとなった。

毎月の作業は無くし、2月に予定した分は、2月8日、湯谷(ゆや)温泉に泊まり、伝統の花まつりを見物することになった。

そして3月、6~8日に竹中さんのつぶれた小屋を撤去することとした。

今回から、久米さんがチーフとなって用意された夕食は、

(夕) 筑前煮、刺し身(マグロ、カンパチ)、メサバ、切昆布とずいきの炒め物、
ホウレンソウと春菊のゴマ和え、エビワンタン、白菜の即席漬、大根の甘酒漬、
康江さんから萩(山口)のかまぼこと竹輪そして梅とシラスのおにぎり。

20時、立憲民主党の小山展弘衆院議員が来訪、懇談。森町内の各地を廻り、こが終末のようだった。

1月9日(木)、晴、風が出る。すずこ

2台に分乗して島田市の小澤半江さん宅へ。クリの木2本のほか崖の樹木

整理.

竹中さんが脚立を使って木に上り、枝を落とす。原田さんが主幹を伐倒。山崎さんと若林さんがチェーンソーを使って枝の整理。ぼくは手鋸で小枝の整理。この種の作業でチェーンソーを使わないのは、これが初めてだ。体調が悪いときは、こんな場面がふえそうだ。

(昼) 春巻、巾着、ハンバーグ、根菜の煮物ほかに、赤飯とみそ汁。

午後も作業を継続。気温が低く風もあり、つらい作業だったが、皆さんががんばって16時前にさっぱりした。今後は、冬季を避けて作業をしたい。

黒糖羊かんと金平糖で抹茶を頂き、伊太和利の湯(820円)につかって薄場へ。

(夕) 豚肉のすき煮、チンゲン菜のシーチキン炒め、タイのあさ煮、里芋の揚げ浸し、昼の残り物に北海道 津別町のラーメン。

内田美智子さんからマドレーヌ。「山仕事ありがとうございます。ささやかな物送らせて下さい」とのメモが。いつもありがとうございます。

この夜、啓史さんも参加。食事をしながら何度か憩談。

前回よりさらに前進。家を使ってよい、カギも預ける。妹、叔母と時々家の風通しにくるが、その場合、猫の手の日程を優先する。家まわりの整備は、自分ではやり切れないのでお願いしたい。ヨサや桶ヶ沢、井戸谷などの草刈り、元氣里山が引き受けない時は茶園の整備も。家や電気、ガスの使用料は頂かない。

ありがたいこと。これで山林を除き、ほぼ従前同様の作業となりそうだ。

またスミさんによると、式根島の池田清江さんから「島は異常な西風がやまない。桟橋で釣った魚を送りたいが、船が欠航し残念。皆さんもおケガに気を付けて」とメールがあったとのこと。

1月10日(金)、晴。朝、「風花(めざはな)」が舞っているとスミさん。指先が冷たく強ばり、作業にならぬ。

この日は余計な竹を切る。原田さんが切った竹を若林さんが道路まで運び出し、竹中、山崎さんとぼくが枝葉を払う。木さに応じ2~8mに切断した竹は、ネットを張った時、裾の重しとする。

(昼) 芋汁、青菜ととり肉炒めに柿を食べます。

森駅でひとに見送られ帰途につく。敷地駅では、ホームで手を振る姿が300m近くにわたって見えたが、森駅では発車するとすぐカーブで見えなくなり、つまらない。

天浜線の車中、正士さんから原田さんに電話。また会えるから、お元気で。

次回は、3月6~8日、竹中さんの小屋より壊しの予定。